（様式２－３）

（グレーの文字は削除して、お使いください。）

(申請団体の文書番号)◎◎◎第△△△号

●●年●●月●●日

在○○○大使（在外公館長氏名）殿

　外務省国際協力局民間援助連携室長(氏名)殿(注：本邦契約の場合））

(申請団体名)

（法人番号）

(代表者氏名)

* 団体としての最終版であることを確認済み（要チェック）

日本ＮＧＯ連携無償資金協力

事業変更報告書

　●●年●●月●●日付け日本ＮＧＯ連携無償資金協力贈与契約に基づく「贈与契約上の案件名」の実施について、下記の理由により事業の内容(及び経費の配分)を変更するので（したので）、報告いたします。

記

１　変更内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 変更前 | 変更後 |
| 活動内容の変更 | 例）現地事業責任者の出張回数　６回  出張時の宿泊日数　０泊 | 現地事業責任者の出張回数　５回  出張時の宿泊日数　１泊 |
| 予算に関する備考 | 予資金項目間の２０％を超えない変更である。万が一超える場合は自己資金とする。  （その他特記事項がある場合は記入） | |

２　変更理由

|  |  |
| --- | --- |
| 変更理由・背景 | （例）事業国でハリケーンが通過して飛行機が運休となったため、当初予定していた日程での出張を取りやめざるを得なかった。そのため、出張回数は減ったが、２日連続で研修を行う予定に変更した。 |
| 変更による期待する成果・プロジェクト目標整合性 | ハリケーン通過により延期となった研修に、予定どおり現地事業責任者が参加して衛生啓発研修を実施し、研修効果が維持される。対象地域での研修が予定どおり効果的に行われることで、プロジェクト目標である「地域住民が衛生と手洗いの知識を持ち、コミュニティ内での衛生習慣が向上する」ことが予定どおり達成できるようになる。 |

以上